地方高校生に、追い風を
FairWind
2020年度新歓パンフレット
FairWind

代表挨拶

乾晃樹（団体代表・経済学部経済学科３年・群馬県立高崎高校出身）

地方高校生の現状とはどんなものでしょう？
「まず、大学（特に東大）についての情報がない。」
「やりたいこともなく、そもそも『自分の可能性』すら知らない。」
「仮にやりたいことがあっても十分な学習サポートは得られない。」
こんなところでしょうか。では、理想は？「現状」に対応するようにいえば「大学についての情報を十分にもち、自分のやりたいことと吟味した上で進路を決定し、実現するに足る学力を持っている」ということです。

私たち FairWind は、「現状」から「理想」へと高校生を導くものを「追い風」としています。追い風を吹かせる過程では多様なバックグラウンドを持つ東大生が、各々にしかできない活躍の場を持っています。さらに、上で述べた「理想と現実」は決して「結論」というわけではありません。私たちと一緒に、地方高校生について一度じっくりと考え、追い風を吹かせてみませんか？

佐藤響平（新歓代表・文科二類２年・宮城県仙台第二高校出身）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ FairWind の新歓代表を務めています佐藤響平と申します。

僕は高校生時代この FairWind の企画に参加し、本当に東大を目指すことを決めました。もちろん企画を通して東大の良さを知れたから、というのもあるのですが、当時の自分にとっての大きな変化は東大生に対するイメージでした。少なからず東大生を「変わり者」や「ガチ中のガチ」と見る風潮に僕も流されていました。しかし、企画を通して「東大生ってこんなものか」「意外と普通だな」と考えを改めることができました。でもそれって大事でしょ？ FairWind は「地方の人が受験（特に東大）に対して不利である」ことを大前提にして活動をしてきています。僕は参加者としての視点から「（あえて言うと）東大に限らず多くの特に地方の人が抱える大学の認識の誤解を解く」というのも大きな課題だと思っています。

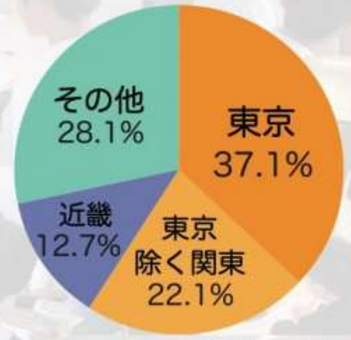
FairWind の活動で数年前の僕のような高校生に影響を与えることができます。人に直接影響を与える経験なんて中々ないし、FairWind を選択肢の一つとして持ってみてはいかがでしょうか。

FairWind とは

地方高校生に、追い風を

これが私たち FairWind の結成以来変わらない理念です。では、どうして、そしてどうやって地方高校生に追い風を吹かせていくのでしょうか。

まず、「どうして」の方にお答えしていきましょう。 下の円グラフは、東大生の出身地別割合(2019年度)について示したものです(※)。



※https://juken.y-sapix.com/articles/9447.htmlより引用。

東京出身者が 3 割以上、さらに関東出身者は全体の６割近くを占めています。地方には東京大学に行くポテンシャルのある高校生が都会に比べて極端に少ないのでしょうか？

地方生の元々のポテンシャルに問題があるのではなく、地方から東京大学を目指すには、都会に比べて高校生自身の力では乗り越えがたい「壁」があるのだ、と私たちは考えます。もちろん、これは東京大学の場合に限った話ではありません。地方では、都会に比べると教育においてどうしても「壁」が出現してしまい、進路選択の幅を狭めてしまいがちです。

その心理的・物理的・社会的な壁を乗り越えるお手伝いをするのが私たち FairWind の使命 なのです。

次に「どうやって」の部分についてお話ししましょう。 それは東大生との交流を通じてです。

東大生だからこそ、伝えられることがある。
地方出身の東大生として地方で頑張る高校生の心の先輩となる。
都会出身の東大生として地方で頑張る高校生の心のライバルとなる。
高校生の自分を思い出してみてください。もし現役の東大生が親身になって応援してくれていたら....

東大生だからこそできること。
皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

FairWind の企画

FairWind が行なっている「企画」について紹介します。FairWind では、地方の高校や東大のキャンパス内で実際に高校生と交流することを「企画」と呼んでいます。「企画」は主に「地方出張セミナー」と「東大ツアー」の 2 つに分かれています。

地方出張セミナー

FairWind　メンバーが実際に高校に出向き、それぞれの高校のニーズに沿った様々なコンテンツを提供します。普段通う高校に東大生が行ける、つまり高校生の日常に東大生が入り込めること、高校生の負担がツアーに比べて少ないことからメンバーが特に力を入れて取り組んでいます。
※高校までの交通費をメンバーが負担する必要はありません。

例）八戸高校他　出張セミナー（2019 年 12 月実施）

青森県立八戸高等学校にメンバーが赴き、八戸高校、青森県立八戸北高校、青森県立八戸東高校の3校から参加した高校生を対象として実施しました。
「①日本の最高学府"東大"、②"東大"へのロードマップを描こう!」というコンセプトのもと、
①東大の魅力についてまずは知ってもらい、東大生との心理的距離を縮めること
②東大に合格するためにはどうするべきか、現状を正しくとらえ直して改善策を考えることで東大を実際に目指してもらうこと
を目標としました。これを実現するために、メンバーの経験に基づいた生の声を高校生に伝え、話を聞くだけにとどまらず手を動かして考えることで受験を見据えた勉強法を見つけてもらう企画を実施しました。
下記のコンテンツ以外に行った、メンバーの高校生時代のノート展示も高校生から大好評でした。

実施したコンテンツ
【おえかきしよう】（アイスブレイクコンテンツ）【東大生半端ないって!!】（パネルディスカッション）
【東大流勉強法】（プレゼンテーション）　【勉強法を見直そう】（ワークショップ：大喜利コンテンツ）

東大ツアー

高校生に東京大学に来てもらい、キャンパス内で様々なコンテンツを実施します。地方の高校生にとって気軽には来られない東大のキャンパスや普段の東大生を肌で感じられ、また研究室見学や大学教授による模擬授業も受けられることから、出張セミナーとはまた違った魅力を持っていると言えます。

例）尾道北高校他　東大ツアー（2019 年 3 月実施）

東大ツアーの多くは一つの高校を対象として実施しますが、こちらの企画では尾道北高校の他に、長崎県立長崎東高校、愛媛県立今治西高校、香川県立観音寺第一高校、岡山県立笠岡高校、岡山県立総社高校、岡山県立倉敷青陵高校、岡山県立岡山芳泉高校、岡山県立岡山城東高校の計 9 校から 66 名の高校生が参加しました。
「大学、受験を知る」というコンセプトのもと、実際に東大に合格し、東大での生活を送るイメージを具体的なものにしてもらうと同時に、9 校から集まった高校生同士がこれから受験を共に乗り越える仲間となることを目標に実施しました。
企画後アンケートでは、「東大が身近に感じられた」、「大学合格のためにすべきことを具体的に見つけられた」といった感想が多く寄せられ ました。

実施したコンテンツ
【東大生の東大受験日記】（プレゼンテーション）
【省察、共有、そして実践へ】（ワークショップ）
【東大生の１日をのぞき見！？】（パネルディスカッション）

企画ができるまで

上で紹介した企画は、一体どのように立案から実行まで移されているのでしょうか。FairWind の活動において大きな重量を占める企画の運営の流れについて、右に大まかにまとめてみました。
それぞれの詳細については P6 以降にて説明していますので、ぜひそちらも参照してください。

① 企画お申し込み
高校側から、FairWind に企画の依頼が届きます。お申し込み時点での高校側とのやりとりはお申し込み担当（→P8）のメンバーが受け持ちます。

② 受け入れ可否の決定
FairWind の執行部（→P7）で話し合い、企画を受け入れるかを決定します。鑑みる要素は、「団体の理念に沿っているか」から「テスト期間などと被らないか」まで多岐に渡ります。

③ 企画作成
受け入れが決定した企画については、班（→P6）でまとまって企画の作成に取り掛かります。まず企画のコンセプトを決め、その後実際に企画で行う内容（コンテンツ）を決めます。

④ 企画実施
企画は、上記の通り「地方出張セミナー」と「東大ツアー」の２つに分けられます。

⑤ アフターケア
いくら企画の質を上げても、東大生と高校生が直接交流できるのは長くて数日です。時間の経過と共に、企画の効果は薄れていってしまいます。そこで私たちはメールマガジンや Twitter 運営等を行い、企画の後も継続して高校生の進学支援をしています。

普段の活動

FairWind は週に１回、毎週金曜日に駒場キャンパスでミーティングを行っています。ミーティングでの活動内容は主に、「班活動」と「セクション活動」の二つに分かれており、それを補助する形で「担当」が置かれています。もちろんミーティングに来れないメンバーにも活躍の場は様々ありますが、メインとなるのはミーティングです。

班活動

P4 の下段で紹介した「企画ができるまで」の、「企画作成」の中心を担うのが班活動です。メンバーが 10〜15 人程度のグループ（班）に分かれて、１つの企画を２〜４ヵ月かけて作っていきます。FairWind の根幹となる活動です。

方向性決定

対象となる高校それぞれに最善の企画を提供できるよう、毎週のミーティングで実施内容を細かく話し合って決定していきます。

・企画の対象となる高校の分析を行う。
・コンセプト（企画を実施する上で達成したい目的をまとめた、テーマのようなもの）を決定する。
・コンテンツ（コンセプトを達成するために、企画において実施する活動の総称）を考える。

実施準備

企画を実施するために、以下のようなことも行っています。

・企画に参加するメンバーの決定
・コンテンツの質を向上させるための練習会

セクション活動

企画は活動の花形ですが、企画の運営だけでは団体は成り立ちません。企画、ひいては団体全体が円滑に運営できるように、団体活動の質向上・存続を見据えて、目標を定めた長期的・継続的・向上的な活動を行うのが、セクションの目的です。

追い風セクション

より高校生に質の高いコンテンツを届けるために、必要な調査や講習を行うセクションです。ミーティングにおけるメンバーへの講習、デザイン全般、また地方高校生の現状についての調査など、幅広い業務を担当しています。

新規対外活動セクション

広報活動や渉外を通して、より多くの高校生に追い風を吹かせる活動を検討するセクションです。広報活動の新たな形態を模索したり、FairWindの認知拡大・ファン（学校）獲得に向けた活動の提案・実施を目的としています。

組織改革セクション

FairWindが実施している企画とアフターケアの質の向上、およびメンバーケアのための制度・仕組み作り、およびそれに向けたチームの作成を目的としたセクションです。また、団体内の問題を解決するための議論を行って解決策を提案することも行います。

規格化セクション

企画作成の一連の流れを整理し、マニュアル化させて効率的な企画作成のモデルを作ることを目的としたセクションです。FairWindへの高校側の企画お申し込み件数は年々増加していますが、現在全てのお申し込みを受け入れることができていません。この現状を解決し、より多くの高校生に企画を届けるために、企画作成の効率化を行うことを活動のメインとしています。

資金セクション

団体の運営や企画の実施にあたり、必要になってくるお金を外部から調達することを目的としたセクションです。安定的で透明性のある資金を確保することで円滑な団体活動に貢献することを活動の目的としています。

執行部

FairWindの意思決定機関です。団体を運営する上で、団体全体に関わる議題を話し合って意思決定を行います。また、団体全体に関わる事務仕事も行っています。

担当活動

団体運営や対外活動の円滑な進行のために必要な実務を担う活動単位です。現在 14 の担当が設けられていますが、ここでは P4 の下段で紹介した「企画ができるまで」に関わっている担当をご紹介します。

お申し込み担当

「企画お申し込み」のステップで業務を行う担当です。団体にきたお申し込みを円滑に処理することをが役割となっています。

メルマガ担当

「アフターケア」のステップで業務を行う担当です。FairWindがアフターケア活動の一環として実施している、メールマガジンの配信に関する作業を担います。団体メンバーが執筆した記事を集積し、メールの送信準備を行うなど、地方高校生に役に立つメルマガ記事の配信が円滑に行われるようにしています。

時期によって特集記事を組むことも多いです。→

質問対応担当

アフターケア系列の施策として、FairWindが公式ホームページから募集している高校生からの質問に対し、団体メンバーによる回答をお送りしています。

ミーティングの活動風景

FairWind がどのようなスケジュールで活動しているかを紹介します。

FairWind の 1 年

4 **5** 新歓期。新たなメンバーとなる皆さんと出会えるのを現メンバーは楽しみにしています。

6 **7** 企画作成やセクション活動がメインとなります。右も左もわからないところから、先輩に教えてもらいつつ実践を重ねることで作業を学んでいきます。企画作成は一班あたり 1～2つです。

8 企画ラッシュの到来です！自分が所属する班が作成した企画への参加はもちろん、他の班の企画に呼ばれて参加することもあります。多くの企画に参加する人もいます。

2019.8

			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ 企画実施日（複数実施日あり）

9 **10** **11** 団体を牽引してきた上級生（主に 3 年生）が引退し、2 年生が執行代となります。ここで、班編成もガラッと変わります。新たな班の班長は 1 年生が務めることが多く、いよいよ団体の中心を担う世代になっていきます。

班の 1 つ目の企画作成や、断続的な企画運営、その他様々な活動がメインとなります。このあたりでようやく仕事に慣れてくるので、主体となって企画作成をしている実感が味わえます。また、少しずつ他班の同期を覚え始める時期でもあります。

12 またまた企画ラッシュ。主に班の 1 つ目の企画が実施されます。企画参加に慣れてくる頃でもあります。

1 **2** 班の 2 つ目の企画作成に入ります。過去の作成の経験を活かして、より充実した企画作成を行うことができるようになります。

3 春休み、企画ラッシュです。多くの同期と企画を通して仲良くなります。もうすぐ新たなメンバーを迎えるため、新歓についても考える時期です。

企画実施校

FairWind が過去に企画を実施してきた高校の一覧です。
あなたが知っている高校、母校はありましたか？

あった人・・・その高校に実際に企画を行ってみませんか？

なかった人・・・自分の母校に、企画を行なってみませんか？

中国

岡山県
- 岡山城東高校
- 岡山芳泉高校
- 笠岡高校
- 倉敷青陵高校
- 津山高校
- 山陽女子高校
- 新見高校
- 総社高校

島根県
- 島根開星高校
- 浜田高校
- 益田高校

広島県
- 安田女子高校
- 広島女学院高校
- 広島県立大門高校
- 尾道北高校
- ノートルダム清心中学校・高校
- （福山誠之館高校）

山口県
- 下関西高校
- 下関南高校
- 宇部フロンティア大学付属香川高校

九州

福岡県
- 東筑高校

大分県
- 大分上野丘高校
- 大分舞鶴高校
- 大分豊府高校

熊本県
- 宇土高校

長崎県
- 長崎東高校
- 長崎県北陽台高校

鹿児島
- （玉龍中学校）

関東

群馬県
- 太田高校
- 太田女子高校
- 高崎高校
- 高崎女子高校
- 前橋高校
- 前橋女子高校
- 中央中等教育学校
- 常盤高校
- 四ツ葉学園中等教育学校
- 前橋南高校
- 沼田高校
- 桐生第一高校
- 農大二校

埼玉県
- 所沢北高校

千葉県
- 木更津高校

茨城県
- 常総学院中学校

四国

香川県
- 観音寺第一高校
- 英明高校

徳島県
- 富岡東高校

愛媛県
- 今治西高校
- 西条高校

近畿

奈良県
- 奈良学園高校

三重県
- 松阪高校

兵庫県
- 加古川東高校

中部

新潟県
- 村上中等教育学校
- 燕中等教育学校

富山県
- 高岡高校
- 高岡南高校
- 富山南高校

石川県
- 金沢二水高校
- 星稜高校
- 小松高校

福井県
- 高志中学校

長野県
- 松本深志高校
- 長野高校
- 屋代高校

岐阜県
- 鶯谷中学校
- 可児高校
- 関高校

静岡県
- 静岡高校
- 藤枝東高校

愛知県
- 豊田西高校
- 安城東高校
- 明和高校
- (愛知啓成高校)

山梨県
- 駿台甲府高校

沖縄

沖縄県
- 昭和薬科大学附属高校

北海道

- 小樽潮陵高校
- 札幌北高校

東北

青森県
- 青森高校
- 五所川原高校
- 三本木高校
- 弘前高校
- 弘前学院聖愛高校
- 弘前南高校
- 田名部高校
- 八戸高校
- 八戸北高校
- 八戸工業大学第二高校
- 八戸聖ウルスラ学院中学校・高校
- 八戸東高校

秋田県
- 秋田高校
- 秋田南中学校
- 角館高校
- 大館鳳鳴高校

岩手県
- 盛岡第一高校

山形県
- 山形東高校
- 新庄北高校
- 鶴岡南高校
- 山形西高校
- 酒田東高校
- 米沢興譲館高校

宮城県
- 仙台第二高校

福島県
- 会津北嶺高校
- 福島高校
- 安積高校
- 磐城高校

メンバーの声

FairWind には 100 名以上のメンバーがいます。スペースの都合上全員の声を届けることはできませんが、今回 12 名のメンバーに FairWind での活動に関する質問をしてみました。同じメンバーでも、感じていること、考えていることはやはり十人十色です。

① 活動を通して得られたもの　② やりがいを感じた瞬間　③ FairWind の推しポイント　最後にメッセージをお願いします！

K・Y（理科二類２年・明和高校 / 愛知）

①新しい仕事の仕方を学べました。高校生の時のじぶんに教えてあげたいくらいです。
②高校生から、良いレスポンスをもらえた時!企画の中で少しでも意識が変わったかな?と思える表情をしてくれているととても嬉しくなります。
③コミュニティとしてもすてきなところ!尊敬できる人もたくさんいます。

自分で関わり方を調整できるのも追い風の良いところです!あたしも最初はここまでコミットする予定じゃなかったけど(笑)楽しくてコミットしちゃってます!ぜひいっしょに活動しましょう〜〜

O・R（文科一類２年・岐阜東高校 / 岐阜）

①自分の経験やノウハウを伝えることで、高校生に何かしらの影響を与えることができるという喜び。あと単純にプレゼンとか話し方の技術とか。
②自分の伝えたことをもとに、高校生が自分の進路や将来を考えてくれた時。
③FairWindは高校生のために活動するサークルだけど、個性豊かな地方東大生が集まるコミュニティでもあると思う。愉快な仲間がいっぱい。

まずはサークルに来て、FairWindを見てほしい。お堅いサークルだと思うかもしれないが、本当に楽しいので、FairWindを感じて欲しい。

I・R（文科二類２年・北嶺高校 / 北海道）

①頼れる友人
②企画を通じて高校生たちが喜ぶところを見られた時。
③企画のやりがい・達成感

早速ですが、皆さんはどんな生活、どんな勉強をして東大合格に至ったのか覚えていますか?あなたが通ってきた道はあなた自身だけのものであり、他の人が通ってきた道とは全く異なるものであるはずです。そんな唯一無二の経験をしてきたあなたを私たちは待っています。

M・H（文科三類２年・柏崎翔洋中等教育学校 / 新潟）

①プレゼンで伝える力。ファシリテーターとしてまわす力
②高校生に伝えたいことが伝わったとき。
③高校生までの自分の受験経験を生かすことができる点

高校生に追い風をもっと吹かせたいです!!

Y・M（薬学部３年・愛光高校 / 愛媛）

①大学の中での自分の居場所。組織について考えるようになった。
②企画が終わった後に、高校生に「ありがとうございました」と言ってもらえた時です。
③自分の経験を活かして高校生のために活動できるところ、地方出身メンバーの友達がたくさんできるところです。

私は、FairWindに入ってとってもよかったです。想像もしていなかったような面でたくさん成長できたと思っています。高校生のため、そして自分のためにも、FairWindで活動してみませんか?

M・S（文科三類２年・富山中部高校 / 富山）

①地方出身の仲間や新たな視点
②高校生の生き生きとした表情を見た時
③多様な形で活動に関われること

私は複数の部やサークルに所属しています。それでも自分なりの方法で活動に関わって高校生にメッセージを届けることができ、楽しいです。一緒に高校生を応援しませんか?

Y・K（文科三類２年・開成高校 / 東京）

①話し合い、議論の進め方
②地方高校生の笑顔を見られた時!
③地方高校生と直接交流して活動できるところ

よりたくさんの高校生の為になる企画を作るためには皆さんのかけがえのない経験が必要です!あなたの経験をぜひ地方高校生のために生かしてみませんか?

S・Y（理科二類２年・大分東明高校 / 大分）

①個性豊かなメンバーとの出会い!
②高校生が「ためになった」と言ってくれた時
③高校生に直接元気を届けられること

真剣に高校生と向き合うことで頑張る元気の源を届けられるサークルだと感じています。これまで頑張ってきた受験経験を生かして、一緒に全国の後輩たちへ力を届けましょう!

N・A（理科一類２年・ラ・サール高校 / 鹿児島）

①いいお友達がたくさんできた
②そんなできた人間でもないのに高校生が慕ってくれるとこ
③人間が多様である

僕はこの団体に入ったとき、すぐにやめようと思ってしまってました。でも、企画に参加しピチピチの高校生たちと触れあっていくうちにとても楽しくなって、もっとお話したいっ!もっと応援したいっ!て思うようになり今も積極的に参加しております。入って後悔はしないと思います。僕が安心安全を保証します。

O・K（文科一類２年・長田高校 / 兵庫）

①企画をやり遂げる達成感、温かい友人・先輩
②高校生が真っ直ぐな目をして話を聞いてくれるとき。高校生が楽しんでくれていると感じるとき。
③カラフルな価値観・経験をもつ人たちに出会えるところ！

高校まで井の中の蛙だった私ですが、いろんな人に出会っていろんな高校生とお話しして、びっくりするくらい視野が広がりましたし、いろんなことに問題意識を持てるようになりました。初めは先輩に誘われてとりあえず、だったんですけどね。楽しくて楽しくて。

K・N（経済学部３年・盛岡第一高校 / 岩手）

①地元愛と素敵なお友達
②高校生に東大入りたい!って言われる時
③高校生の若いパワーをもらえます

最初は単に地方出身だからとこの団体に入った私ですが、入ってよかったと思ってます。少しでも興味があれば来てくださると私が喜びます!みなさんのことをお待ちしています!

E・Y（文学部社会学科３年・鶴丸高校 / 鹿児島）

①企画を一から作成・遂行する力
②高校生からアンケートでありがとうと言われた時
③色々な地方出身の高校生・大学生と話せるところ

皆さん地元は好きですか？ FairWindでは、色々な地方の高校生や大学生の地元トークが飛び交います。それがもう楽しいこと楽しいこと! ぜひ皆さんの地元トークを聞かせてください!

中高生の声

以下は、実際に企画に参加した中学生・高校生の感想を、企画後に行う参加者アンケートから原文のまま抜粋したものです。

心底東大に行きたいと思わせてくれました 頑張ります！！

目指すものを持つ良い機会になりました！ 本当にありがとうございました！

東大は、今まで私が感じたことのない新たな場所で、みんなが輝いていて本当にステキでした。私も先輩のような人になりたいので、今日からコツコツとやりたいと思います。

全部面白く惹かれるお話でした。モチベ爆上がりです。過去２回東大のOC来ましたが東大来たいと意思が固まったのは初めてな気がします。

こういう企画はありがたい。参考になった

楽しかった!!

田舎の大学しか行けるところがないと思っていたが、課題を見つけ、もっともっと勉強を計画的に続けていったら、将来への視野が広がると思いました。

思っていたよりも断然親しみやすかった 東大生に憧れを感じました。

東大のことについてより深く知ることができました。東大の先輩方の話を聞いて、失敗を恐れない心、自由にものを考える想像力、進んで行事に参加してみる積極性を学ぶことができました。今回のことを忘れず、日頃の学校生活に生かしていきたいと思います！

空の上だと思っていた東大、東大生が、想像以上に「大学生」という感じがしてイメージが変わった。また、キャンパス見学やプレゼンテーションを通して、より東大について具体的に知れた。もっと話したいことがあり、終了がとても悲しかった。

今まで勉強が嫌いだったけれど、東大生の方のアドバイスのおかげで勉強を好きになる方法を知ることができたと思います。

Q&A

Q 活動日・活動場所は？

A 毎週金曜日の 5 限後に駒場キャンパスでミーティングを行なっています。メンバーは原則としてこのミーティングに参加します。オンラインでの参加も可能です。

企画（東大ツアー・東大生地方出張セミナー）は土日や長期休暇中などに不定期で行われます。場所は本郷キャンパス、駒場キャンパス、企画実施校など様々です。

Q 企画って全部参加しなきゃいけないの？

A 参加したい企画や日程の都合がつく企画に参加すれば OK ！当日都合がつかない企画でも、準備に参加することもできます。

Q 活動費はどれくらいかかるの？

A 地方出張セミナーを行う高校までの交通費等は団体側または企画校側で負担します。現在、メンバー個人に負担をお願いしているのは、東大ツアーの際にキャンパスと自宅を往復するための交通費のみです。

Q 兼サーしても大丈夫？

A OK です！現メンバーの多くも他のサークルと両立して楽しく活動しています。(例:運動会の部活動、スポーツ愛好会、その他運動系サークル、NPO、劇団、ゼミ、音楽系サークルなど)

Q 地方出身じゃないと入れない？

A FairWind には東京、神奈川、千葉といった首都圏出身のメンバーも在籍しています。「地方の高校生に追い風を吹かせたい」という思いさえあれば出身は問いません！

新歓説明会

FairWind に少しでも興味を持った方はぜひご参加ください！

オンライン新歓 開催決定

16(木) FairWindの魅力ってなあに?
パネルディスカッション

19(日) お悩み・質問
なんでも相談会

22(水) トークテーマいろいろ!
交流会

Zoomでの開催を予定しています。詳しくはツイッターの投稿・LINEのメッセージをチェックしてください。

連絡先

Mail　：fairwind.shinkan@gmail.com
HP　：http://fairwind-ut.com
Twitter　：@ut_fw_shinkan
LINE　：右の QR コードから登録できます！

※説明会の実施場所・日程・内容が変更になる場合があります。その場合は LINE、Twitter 等にて最新情報をお知らせしますので、随時チェックをお願いします！